

教育長メッセージ

— 委嘱状の交付にあたって —

皆様方には、日頃から学校給食センターの運営事業に御理解と御支援を賜り、感謝申し上げます。

さて、一昨年度から昨年度にかけて、コロナ禍で、学校が3ヵ月以上も臨時休業となり、行事の中止や夏季休業の短縮など、学校運営に大きな影響がありました。学校給食センターにおいても、発注済食材のキャンセルに伴う対応や本来の夏季休業中に給食を提供するための対応に追われました。現在も、万が一の臨時休業措置に備え、食品ロスにならないような食材の選定や、例えば、主菜と具だくさんの汁物により配膳の過程を省略できる品数の少ない献立にするなど工夫をしています。その結果、一部の保護者からは、献立内容が悪くなったのではないかというご意見もいただいている状況です。

また、子どもたちが3ヵ月間も給食を食べることができなかったことで、家庭間の「栄養格差」も注目を集めました。学校給食は、単に一日3食のうちの1食ということではなく、今や、セーフティネットとしてあらためて注目されるようになりました。

このような状況の中で、教育、栄養、心身の健康、安全な食材供給といった分野の専門家である皆様方に本運営委員会の委員をお引き受けいただきました。それぞれのご専門のお立場から、ご意見・ご指導いただきますようお願い申し上げます。

今年度についても、ワクチン接種は始まったものの、収束の目処がたたないなか、私どもは、制約がある中ではございますが、子どもたちに安全安心な給食を提供できるよう、全力で取り組んでまいります。今回は、残念ながら運営委員会を中止せざるを得ませんでした。お気づきの点、新たなアイデア、皆様の周りの方々の声など、随時給食センターにお届けいただければ幸いです。

令和3年7月21日

鶴ヶ島市教育委員会教育長